

2006年10月号

No. 56

(合併第5号)

下大和田・小山町

# 谷津田だより

ちば環境情報センター・  
谷津田プレーランドプロジェクト  
TEL&FAX : 043-223-7807  
E-mail: hello@ceic.info  
http://www.ceic.info/

## 小山町の谷津田ってどんなところ？

9月15日に大椎小学校・5年生の谷津田見学会が行われました。大椎小学校は、小山町から直線距離にして1キロも離れていないため、この谷津田の風景を毎日、目にしている子や、虫取りで足を運んでいる子もかなりいました。

子どもたちは、社会科で米づくりを勉強しており、学校ではバケツ苗を育てているそうです。今回、広い田んぼにたわわに実る稲穂を子どもたちにみせてあげたいという先生のご希望もあり、見学会を9月に予定しました。しかし、雨で延期となり、残念ながら、農家の方々の稲刈りは終わってしまいました。それでも、手作業の稲作の様子を見てもらおうと、脱穀の終わったわらをおだにかけなおしていただいたり、稲刈りのまだ終わっていないYPPの田んぼも見学コースにいれたりしました。

手作業中心の稲作をなさる農家の方からお話を伺ったり、四方10メートルに満たないYPPの田んぼのお米が1年で何人食べられるのかもみ数や株数を数え、計算したりしました。その他、谷津の散策、魚釣りなどをしてもらいました。

1時間半の中でこれらを学ぶには時間が足りず、子どもたちが何を学び、感じ取ってくれたか不安でしたが、普段、何気なく目にしている谷津を、実際に歩き、体感し、彼らなりの収穫はあったようです。(報告・松下恵美子)

## 大椎小・谷津田見学会より



地元農家の方に田んぼの話を聞く

### 【子どもたちの感想】

- \* いろいろなめずらしい生き物が見られてよかったです。稲についてもいろいろなことがわかりました。学校の稲穂が黒くなっているのどうしてかと思っていたけど、農家の方が、実になっていない空の穂だと言われていたので、わかりました。(M・B)
- \* 谷津田に行っているいろいろな私の知らない昆虫や生き物がいて、「谷津田は自然がいっぱい残っているんだな。」と感動しました。稲のこともいろいろわかってよかったです。これからも自然を大切にしていこうという気持ちがわきました。また行きたいです。(M・M)
- \* 谷津田に行って感動しました。僕たちのまわりにこんなによろしい生き物の宝庫があるなんてまったく知りませんでした。僕はまた谷津田に行きたいです。今度は稲刈りや田植えをしたいです。(K・Y)
- \* 私は初めて見た生き物がいっぱいて、めずらしい生き物や植物などがいることにびっくりしました。それに初めて田んぼに入って、そこに流れてくる湧き水が10年前の雨水と聞いてびっくりしました。(M・A)
- \* 私はドジョウを初めて見られてすごく楽しかったし、谷津田の水はキレイだな~と思っています。(K・M)
- \* あのまま美しい自然が残っていればいいなと思います。あそこで遊ぶのも楽しいと思います。めずらしいいきものがたくさんいておどろきました。水もきれいでした。(Y)
- \* 私はサワガニを見られてとてもうれしかったです。それに10年前に降った雨が山の中からしみでているのがとてもすごいと思いました。(K・T)

### 【同行して下さった父兄の感想】

- \* 主食であるお米がどのように育って、食卓にたどり着くのか、興味をもてるような内容で説明して下さったことに感心しました。古代米や黒こめをの稲を見るのは初めてで大人の私も感激しました。(E・S)
- \* 何度か車で通り過ぎたことはありましたが、この辺りを谷津田ということさえ知りませんでした。けれども、一步、足を踏み入れた時、自身が子どもの頃、遊んだ場所に引き戻されたかのような気分になりました。子どもたちといろいろな発見をしながら、谷津田には私が幼い頃でも見られなかった貴重な動植物が多いのおどろきました。親子ですばらしい体験ができたと思います。(N・H)



# 里山たんけんレポート

## 第 80 回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告

2006 年 9 月 3 日 (日) 晴れ

今日は環境漫画家つやまあきひこ先生指導による漫画教室も行なわれました。漫画教室参加者も午前中は題材を求めて田んぼの周辺を巡って植物や昆虫を観察しました。コナギ、トチカガミ、キクモ、ハッカなど水田雑草や湿地性の植物も咲き始めました。モズが高鳴き、刈り取り間際の田んぼはコバネイナゴやカマキリが目立ってきました。シオカラトンボ、オオシオカラトンボはいつものとおりたくさん飛び回っていましたが、アカトンボの仲間はノシメトンボばかりが目立ち、わずかに真っ赤になったナツアカネが見られただけでした。山のクヌギ酒場はカブトムシ、カナブンは姿を消し、スズメバチが数匹、ルリタテハ、サトキマダラヒカゲ、ヒカゲチョウなどが樹液を吸っていました。

開花植物：ヨモギ、カントウヨメナ、ヒメジョオン、オオアレチノギク、タカサブロウ、タイアザミ、アキノノゲシ、ノゲシ、ミゾカクシ、スズメウリ、ヘクソカズラ、キツネノマゴ、トキワハゼ、アゼナ、アメリカアゼナ、キクモ、ハッカ、ヤマハッカ、カノツメソウ、チョウジタデ、ヤブガラシ、シロツメクサ、ヌスビトハギ、ノササゲ、ツルマメ、ゲンノショウコ、カタバミ、オッタチカタバミ、タコノアシ、イヌガラシ、ウシハコベ、ヨウシュヤマゴボウ、ヒナタイノコズチ、ヒカゲイノコズチ、ヤナギイノコズチ、ギシギシ、ミズヒキ、イヌタデ、カナムグラ、アシ、オヒシバ、エノコログサ、アキノエノコログサ、オオエノコログサ、ムラサキエノコ、スズメノヒエ、シマスズメノヒエ、メヒシバ、イヌビエ、チヂミザサ、ジュズダマ、ヤマノイモ、オニドコロ、ヤブラン、ヒメヤブラン、コナギ、ツユクサ、ヤブミョウガ、トチカガミ、オモダカ、ヘラオモダカ、カヤツリグサ、マツカサススキ、クサギ。

野鳥：コジュケイ、キジバト、コゲラ、ヒヨドリ、モズ、シジュウカラ、スズメ。

昆虫：オオイトトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ノシメトンボ、ナツアカネ、オニヤンマ、アオスジアゲハ幼虫、キアゲハ、クロアゲハ、モンシロチョウ、モンキチョウ、サトキマダラヒカゲ、ヒカゲチョウ、ヒメジャノメ、ヒメウラナミジャノメ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、イチモンジチョウ、キタテハ、ルリタテハ、キマダラセセリ、カノコガ、ガ sp、セスジスズメ幼虫、カブトムシ幼虫、コフキコガネ、タマムシ、ハイイロゲンゴロウ、ミイデラゴミムシ、ゴミムシ sp、キマワリ、コバネイナゴ、ツチイナゴ、オンブバッタ、クルマバッタモドキ、エンマコオロギ、オオカマキリ、ハラビロカマキリ (子)、ヒグラシ、ツクツクボウシ、スケバハゴロモ、ツマグロオオヨコバイ、オオスズメバチ、ナガカメムシ sp。

クモ：ナガコガネグモ、オオシロカネグモ、ジョロウグモ。

両生・爬虫類・魚ほか：ニホンアカガエル、クサガメ、メダカ、マルタニシ、オオタニシ、ザリガニ。

(参加者 大人 12 名、小人 7 名；報告：網代春男)

## 第 64 回下大和田 YPP「みんなでサクサク、コシヒカリの稲刈り！」 9 月 17 日(日)曇り/雨

台風の影響が心配された天気は何とかもってくれて、田んぼにたくさんの方が集結。はじめての方、元気一杯の子どもたち、それに海外からの留学生の皆さん！そして心強い常連さんの面々で、いつものようににぎやかな稲刈りでした。はじめての方は最初コツがわからないのでなかなかうまく刈れず、力が入っている様子が見て危なっかしい感じでしたが、すぐに慣れて軽やかなサクサクの音が聞こえてきました。常連になると手慣れたもの。刈るよりも束を結わえる方に時間がかかることを心得ていて、様子を見ながらうまく作業を調整してくれます。午前中にコシヒカリ田んぼとカヤネズミ田んぼの 1/3 を刈り終えました。そう、カヤネズミ田んぼには今年も巣がいくつかありました。昼食後、カヤネズミ田んぼを刈り終えたところで記念撮影をして予定のプログラムは終了。後は有志で今年からお手伝いをはじめた田んぼに取りかかりました。ところが 30 分ほど刈ったところで霧雨が本格的な雨に変わり、田んぼ 2 枚を残して作業を終えました。皆さん、お疲れさまでした！



(参加者 大人 27 名、幼児 3 人、小学生 11 人；報告：高山邦明)

(追伸 翌日いくつかのオダが倒壊して急遽補修。残った田んぼの稲刈りは平日に常連の皆さんが時間を取って進めてくれたおかげで、22 日に完了しました。ご協力、本当に有り難うございました。)

心地よい秋晴れのもと、小山町の初めての稲刈りを行いました。先日の大椎小の観察会で「稲刈りしたい人は24日にあります」と紹介したためか、5年生が7~8人、集まってきてくれました。まず目標の稲刈りを終わったら、観察会をということになり、さっそく、稲刈りを始めました。



カマを持つのが初めてという子どもが多く、大人がついて、刈り方指導。

危ない手つきも次第に慣れて1時間ほどで刈り終え、畦は稲の山。つぎにおだつくりのため、藁をなっていると、次々に子どもたちが興味を示し、藁なえ教室がはじまりました。おだができると、稲の束を結わえるのを手伝ってくれる子と、皆、自分の興味あることを一生懸命やってくれました。お米の収穫量はさほどありませんでしたが、子どもたちの生き生きした笑顔いっぱいの稲刈りでした。



刈り終えた稲を前で記念撮影

観察会は、稲刈りだけで時間がきてしまい、有志だけでおこないました。

(参加者 大人13人、小学生13人、幼児3人 報告：松下恵美子)

開花植物：アキカラマツ、イボクサ、エノコログサ、オヒシバ、オモダカ、キツネノマゴ、キバナアキギリ、クズ、シロツメクサ、サラシナショウマ、ススキ、センニンソウ、チカラシバ、ツククサ、ヌスビトハギ、ヒメジョオン、ホタフブクロ、ミズヒキ、ミゾソバ、メヒシバ、ヤマホトトギス、緑米。

野鳥：キジ、ヒヨドリ、メジロ、モズ。

昆虫：キアゲハ、クロアゲハ、ナミアゲハ、モンキアゲハ、キチョウ、ゴイシジミ、シオカラトンボ、ノシメトンボ、マユタテアカネ、オニヤンマ、オオアオイトトンボ、ツクツクボウシ、アブラゼミ、ヒメギス、オンブバッタ、ショウジョウバッタ、クビキリギス、エンマコオロギ、コカマキリ、オオカマキリ。

クモ：アシナガグモ、オオシロカネグモ、コクサグモ、ジュロウグモ、ナガコガネグモ、コガタコガネグモ、ドヨウオニグモ。

その他：ニホンアカガエル、アマガエル

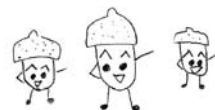
## 谷津田・季節のたより

### 下大和田

9月17日(日) 田んぼにキクモの小さな花(高山)。

9月23日(土) 稲刈りあとの田んぼにたくさんのトチカガミの花(高山)。

9月30日(土) 雨が多く乾燥がまだ今ひとつでしたが、コシヒカリを脱穀しました(高山)。



### 小山町

9月2日(土) ミズヒキ、ツリガネニンジン、ヌスビトハギなど秋の草花が次々開花(高山)。

9月9日(土) 田んぼでは稲刈りがほとんど終わる。ヤマホトトギスの花が咲く。緑米、赤米が出穂。田んぼにチュウサギの群れが羽を休めていた(高山)。

9月15日(土) 上空をサシバが鳴きながら飛ぶ。キバナアキギリの花が咲き始める(松下・江澤)。



稲刈りが終わってかかしもうれしそう!

\* 田んぼや畑は地元の方の大切な私有地です。観察会以外にむやみに立ち入らないようにお願いします。また、貴重な動植物の捕獲、採取は控えてくださいますよう、ご協力をお願いします。動植物の移入も厳禁です。

## イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPの活動は大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター(TEL&FAX:043-223-7807 E-mail:hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられるほうは必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・中学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。

### 第65回 下大和田 YPP「みんなでサクサク、古代米の稲刈り！」

9月のコシヒカリに続いて古代米の稲刈りをします。赤米、黒米、緑米、収穫祭での試食、年末のお餅つきのために一汗流しませんか？今年は今までの倍以上の広さがありますので、多くの皆様のご協力をお願いします。

日時: 2006年10月28日(土) 10:00~14:00 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円

持ち物: 弁当、飲み物、敷物、長靴(泥が深いので長めのもの)、軍手、お椀、はしなど

参加費: 300円(保険・資料代など)

主催: ちば環境情報センター(ホームページ <http://www.ceic.info/>)

共催: ちば・谷津田フォーラム(ホームページ <http://yatsuda.2.pro.tok2.com/>)

### 第15回 小山町自然観察会と古代米の稲刈り

こちらも次は古代米。黒米、赤米、緑米の順番で穂が出て実りの季節を迎えています。収穫祭での試食を楽しみにみんなで刈りましょう。

日時: 2006年10月29日(日) 10:00~12:30 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(当日、集会所前に案内を出します)

持ち物: 長靴、着替え、飲み物、軍手など

参加費: 100円(保険・資料代など)



### 第82回 下大和田 11月の谷津田観察会とごみ拾い

渡ってきた冬鳥の声を聞き、色づいた木々の実を楽しみ、秋も深まった谷津を散策しましょう。

日時: 2006年11月5日(日) 10:00~14:00 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 中野操車場バス停に10:00(同上)

持ち物: 筆記用具、弁当、水筒、長靴、帽子、敷物、軍手、ゴミ袋など

参加費: 300円(保険・資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム

共催: ちば環境情報センター

### 編集後記:

下大和田では今年いつもの倍近い広さに植えたコシヒカリの収穫が終わりました。田んぼの常連の方々をはじめ、皆様のご協力本当に有り難うございました。次は古代米をよろしくお願いします。小山町では春のあすみが丘小学校に続き、秋は大椎小学校が見学に来てくれました。1時間半という短い時間でしたが、5年生130人に谷津田を楽しんでもらえたと思います。これからも地元の学校と提携した活動も続けていきたいと考えていますので、よろしくお願いします(高山)

初めての収穫をたくさんの方と迎えることができ、感無量です。まだまだ、脱穀、籾摺りと大変な作業があり、お米を口にするまでがいかにたいへんかを実感しています。地元の方のご指導のもと無事に収穫祭までがんばりたいと思います。(松下)



(イラスト: 高山翔・瑞紀)